

大阪府立大学学長 奥野武俊 殿

大阪府立大学の改革に関する意見および要望

私たちは、「大阪府立大学社会福祉学会」と称する任意団体です。大阪府立社会事業短期大学、大阪府立大学社会福祉学部、大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科を卒業し、福祉現場で働く者を中心として、おもに、社会福祉実践等に関する研究活動を行っています（会員数、約1400名）。

昨今、大阪府立大学が、橋下徹知事の意向を受けて、近々、大きく改革されるという、複数の新聞報道等がございました。大阪府の戦略本部会議の文書は、人間社会学部の存在意義を否定しています。また、報道されている改革案は、いずれも「理工系に特化」とされており、人間社会学部の「廃止」を報じているものも、あります。

大阪府は、これまで、我が国の都道府県として、最も、福祉人材の育成に、力を入れてきました。府は、戦後すぐの1950年、全国に先駆けて、大阪府立社会事業短期大学を創設し、1981年、短期大学は4年制に改組されて、大阪府立大学社会福祉学部となりました（2005年、人間社会学部社会福祉学科に改組）。

大阪府立社会事業短期大学、大阪府立大学社会福祉学部、人間社会学部社会福祉学科で学び、福祉現場で働く私たちは、母校で受けた教育に誇りを感じ、得た知識、技術、精神を活かして、日々、頑張っております。私たちは、長きにわたり、近畿地方を中心とする各地の福祉現場に大きな地歩を築き、かなりの評価を受けてきたと自負しております。

昨今の社会情勢や政治の動向を見ますと、さまざまな社会問題、福祉課題に正面から立ち向かう「質の高い福祉専門職」が、今ほど求められている時代は、ありません。大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科は、意欲と能力の高い入学者を対象とし、少人数を基盤とする、きめの細かい、質の高い社会福祉教育を行っています。これは私立大学等では決してなしえないものです。毎年、質の高い社会福祉士、精神保健福祉士、保育士等を福祉現場に送り出している、人間社会学部社会福祉学科を、今般の大学改革で、絶対に、廃止しないでください。多くの国民、府民が支払った税金で運営される大阪府立大学には、明日の福祉専門職を育て、「大阪の福祉課題」を研究し、実践の質を高める社会福祉学科が、絶対に必要です。多くの府民は、その「充実」こそを、望んでいます。

今後予定されている、府立大学の改革は、「すべての府民」の幸せにつながるものでなければ、なりません。社会福祉学科を廃止するような組織改編は、全く「改革」の名に値せず、社会的に不利な状況に置かれた多くの人々を、「より不幸」にします。今後の大学の改革において、社会福祉学科を、必ず、現在の内容で残して頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。私たちは、橋下知事にも、これとほぼ同様の要望書を、提出いたします。奥野学長が、「すべての府民の幸せ」につながる判断と行動をされるよう、心よりお願い申し上げます。

2009年11月10日  
大阪府立大学社会福祉学会  
会長 奥野武俊

収	受
平	21.11.11
総務第	号
大阪府立大学	